

桜台小だより

<http://www.sagamihara-sakuradai-e.ed.jp/>



〒252-0321
相模原市南区相模台7-7-1
TEL 042-742-3674
FAX 042-741-7991

学校長 遠藤 洋子
令和2年 11月 30日

「はやぶさ2」～地球帰還へ



〈はやぶさ2イメージ イラスト:池下章裕〉

6年前の2014年12月3日に地球を出発した小惑星探査機「はやぶさ2」が、「リュウグウ」でのサンプル採集を終え、試料入りカプセルを地球に届けるために、いよいよ地球に帰ってきます。宇宙航空研究開発機構（JAXA）の発表によると、12月6日未明にオーストラリア南部の砂漠へ着地させる予定とのことです。JAXAのホームページから「はやぶさ2」が地球まであと何キロメートルまで近づいているかが確認できます。地球との距離を示す数字の変化にドキドキわくわくしてきます。「はやぶさ2」はカプセルを分離した後に、再び

次の小惑星をめざす予定だそうです。夢は果てしなく続きます。

「はやぶさ2」は、2.4億キロメートル彼方で、誤差60センチメートルという精確さでリュウグウ着陸に成功して世界を驚愕させました。その瞬間の映像に目を奪われ何度も見入っていたのを思い出します。また、「100点中1000点」と言ったプロジェクトマネージャーの津田雄一さんの言葉はとても印象的でした。

さて、その津田雄一さんですが、相模原市出身、市内に在住ということもあって、一方的に親近感を抱いています。つい最近出版された津田さんの著書を読みました。宇宙についての知識のない私ですが、読み進めていくうちに「はやぶさ2」と一緒に宇宙を探検しているような不思議な感覚になりました。また、幾多の困難を乗り越え、数々の世界初を成し遂げた秘訣は、「はやぶさ2」に携わる人々が切磋琢磨しながら専門性を磨き合い、ものすごいプレッシャーも前向きな力に変えてしまうチームの力につきるのではないかと思いました。まるで困難を楽しんでいるかのように感じました。

「やっている当人たちが楽しまない、 良い結果が出せるはずがない。」

最も印象に残っている言葉です。その通りだと思います。だから輝いて見えるし、多くの人に感動を与えるのだと。何か事を成す時には、責任と心配に支配されがちです。しかし、マイナスをプラスに変えることを楽しみながら前進できる人になりたい。そして、子供たちにはその姿行動から教えることができる大人になりたいと改めて思いました。

現在も地球をめざして進んでいる「はやぶさ2」を見守り、無事に帰ってくることを楽しみに待つことにします。